

Newsletter: 日本音韻論学会 (PHSJ)

第18巻第1号 (通巻51号)

2014年4月27日

『音韻研究』第17号発行

『音韻研究』第17号が発行されました。昨年度の会費を今年の3月末日までに納付された方には、このNewsletterとともに1部お送りしています。ご確認ください。

2013年度春期研究発表会と音韻論フォーラム2013における講演・研究発表の中から、査読を経た研究論文10篇、招待講演論文(学位取得者講演論文を含む)7篇、合計17篇が収められています。

2014年度春期研究発表会

2014年度春期研究発表会(通算第20回大会)が、6月6日(金)に、首都大学東京・秋葉原サテライトキャンパスで開催されます(なお6月7日~8日には日本言語学会が法政大学飯田橋キャンパス(東京都)で行われます)。

プログラムは以下の通りです。奮ってご参加下さい。発表会終了後、会員総会が行われますので、ご出席下さい。その後、懇親会が予定されています(会費、会場については、当日お知らせします)。

日時: 2014年6月6日(金) 13:30 - 18:05

会場: 首都大学東京・秋葉原サテライトキャンパス 秋葉原ダイビル12階 1202号室(東京都千代田区外神田1-18-13・JR秋葉原駅「電気街口」徒歩1分) 地図は以下のサイトを参照 (<http://www.tmu.ac.jp/access.html>)。

参加費: 一般・維持会員: 1,000円, 学生会員: 500円, 非会員: 2,000円

問合せ: 田中 真一(神戸大学)(担当理事)

tanaka-s@lit.kobe-u.ac.jp

または、学会事務局

プログラム

13:30-13:35 開会挨拶 会長 田端 敏幸(千葉大学)

セッション1 一般発表

司会: 松井 理直(大阪保健医療大学)

13:35-14:15 坂本 洋子(獨協医科大学)

「日本語母語話者の英語における語彙認識に関する研究」

14:15-14:55 森 直哉(同志社大学大学院生)

「日本語母語話者による英語の同化音の聞き分けにおける周辺音韻情報の利用」

(休憩10分)

セッション2 一般発表

司会: 吉田 優子(同志社大学)

15:05-15:45 Liqun Liu (Utrecht University) & René Kager (Utrecht University)

“Understanding Phonological Acquisition through Phonetic Perception - the Influence of Exposure and Acoustic Saliency”

15:45-16:25 Mark Irwin (Yamagata University) & Timothy Vance (NINJAL)

“Rendaku Across Japanese Dialect”

(休憩10分)

セッション3 学位取得者講演

司会: ティモシー・バンス(国立国語研究所)

16:35-17:35 高山 知明(金沢大学)

「16・17世紀日本語音韻の動的諸相」【筑波大学2012】

(休憩5分)

17:40-18:05 総会

18:05 閉会挨拶: 副会長 田中 伸一(東京大学)

18:20-20:20 懇親会

音韻論フォーラム2014

音韻論フォーラム2014が以下の予定で開催されます。韓国を含む海外からの招待講演ならびに学位取得者講演と一般研究発表で構成されています。

日時: 8月20日(水)~22日(金)

会場: 東京大学駒場キャンパス

21KOMCEE 地下1階ホール

プログラム等詳細は、次号でお知らせします。

フォーラム研究発表募集

音韻論フォーラム2014の研究発表を、下記の要領で募集いたします。発表希望の方は奮ってご応募ください。プログラム等の情報は7月下旬発行予定のNewsletterにてお送りいたします。

本フォーラムでの発表内容は、編集委員会の査読を経て『音韻研究』第18号(2015年3月刊行)に掲載されることとなります。学会誌への掲載という点からも、他学会との重複発表はくれぐれもご遠慮下さい。なお『音韻研究』への掲載は、発表1件につき、原則として8ページです。

<応募要領>

発表(論文)テーマ: 音韻論・音声学に関するもの、あるいは音韻論・音声学と他の分野とのインターフェースに関するもの。

使用言語: 日本語または英語。

発表形態: 一般発表またはワークショップ

送付方法: いずれの発表形態の場合も、①要旨、

②発表者情報を別のシートに記載し、

下記の担当理事宛に送信して下さい。

I. 一般発表の場合

①「要旨」には、タイトルと発表要旨のみを記入する(氏名等は記載しない)。要旨は日本語の

場合 2000 字以内、英語の場合 800 語以内とする。別紙に、参照文献一覧を 1 枚以内で示す。
②「発表者情報」には、氏名、所属、発表タイトル、メールアドレス、住所、電話番号を記載。

II. ワークショップの場合

①「要旨」は、ワークショップ全体に関するものと、各発表者によるものを用意し代表者が取りまとめ、一括して送信する。各要旨には、タイトルと発表要旨のみ記入する（氏名等は記載しない）。各要旨は日本語の場合は 2000 字以内、英語の場合は 800 語以内とする。要旨各々につき、参照文献一覧を 1 枚以内で示す。

②「発表者情報」には、発表者全員の氏名、所属、タイトル、メールアドレス、住所、電話番号を記載。代表者に印をつける。

メールで PDF ファイルを送信 (PDF ファイルの作成が不可能な場合は、Word ファイルにて送信)。PDF ファイルで投稿できない場合は、事前に担当理事にご連絡下さい。

書式：A4 サイズに発表時の使用言語で記載。
締め切り：2014 年 6 月 30 日(月)
送付先：松浦 年男 (フォーラム 2014 担当理事)
phonforum2014@gmail.com (北星学園大学)

書式を守っていない、あるいは期限内に合わない応募原稿は無効としますので、ご注意ください。7 月中旬に、発表の可否を通知予定です。

LabPhon14 早期参加登録

本年 7 月 25~27 日に The 14th Conference on Laboratory Phonology (LabPhon14) が国立国語研究所 (東京、立川市) を会場として開催されます。

本学会も協賛しております。現在 4 月 1 日から 5 月末日まで、Early registration をおこなっております。本会議には内外から多数の参加者が予想されています。会場の制約から 200 名をもって登録を打ち切る予定とのことです。参加予定の皆様は早めにご登録ください。以下でオンライン登録が可能となっております。

http://www.ninjal.ac.jp/labphon14/LabPhon_14/04_registration/

またプログラムも下記でご覧いただくことができます。

http://www.ninjal.ac.jp/labphon14/LabPhon_14/03_program/

旅費の補助について

学会では、若手研究者への支援を目的として、非有職者 (学生や非常勤講師等) で、かつ、遠隔

地からの発表者を対象に、旅費の補助を行います。春期研究発表会、音韻論フォーラムいずれの時期も対象で、一人上限 2 万円です。応募者に対する審査と補助額の算定は事務局で行います。該当される方は発表応募時にお知らせ下さい。

『音韻研究』の購入方法

学会からの配布以外に『音韻研究』の購入を希望される会員は、会員特別価格で購入できます。また、本学会前身の音韻論研究会編『音韻研究—理論と実践』についても、特別価格で購入できます。詳しくは、下記にお問い合わせ下さい。

開拓社『音韻研究』係

〒113-0023 東京都文京区向丘 1-5-2 水上ビル 4F

☎ : 03-5842-8900 FAX : 03-5842-5560

E-mail : kawata@kaitakusha.co.jp

会費納入のお願い

日本音韻論学会は、会員の皆様からの「会費」により運営されております。会費納入にご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

封筒の宛名下にある数字を参考にして、会費を納入願います。印字された数字のうち 3, 4 は、それぞれ 2013, 2014 の各年度の会費が未納であることを意味します。*は、会費納入済みであることを意味します。また、t は thousand の意味で、[5t] とあれば、5,000 円会費が未納、または不足していることを意味します。たとえば、「*4[5t]」と印字されていれば、2014 度の会費が未納で、その総額が 5,000 円であることを意味します。

年度にかかわらず未納分の会費が納入され次第、当該年度の『音韻研究』を無料で送付しています。

封筒をご確認の上、未納の会費を以下の郵便振り込みで納入していただきますよう、お願いいたします。

郵便振込：

口座番号：00180-6-402077

加入者名：日本音韻論学会

年会費：

維持会員：10,000 円

一般会員：5,000 円

学生会員：4,000 円

「維持会員」は、本会を格別に支援して下さる会員です。年会費 1 万円を納入することにより、どなたでも維持会員になることができます。ご検討、ご協力をお願い申し上げます。

また、会員情報 (住所、所属、連絡先) が変更になった場合は、必ず事務局会計にご連絡下さい (学生会員から一般会員へと身分変更となった場合も、必ずご連絡下さい)。連絡されないままにされますと、Newsletter や『音韻研究』等の配布物が正しく配送されませんので、ご注意願います。

日本音韻論学会事務局

【事務局長(学会所在地)】本間 猛(首都大学東京)
〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1
首都大学東京 人文科学研究科(言語科学)
TEL: 042-677-1111(代表)
E-mail: honmat@st.rim.or.jp

【事務局補佐・書記】竹安 大(別府大学)
〒874-8501 大分県別府市北石垣 82
別府大学 文学部
TEL: 0977-67-0101(代表)
E-mail: takeyasu@nm.beppu-u.ac.jp

【会計】西村 康平(愛知淑徳大学)
〒464-8671 愛知県名古屋市中種区桜が丘 23
愛知淑徳大学 外国語教育部門
TEL: 052-781-1151(代表)
E-mail: knishimu@asu.aasa.ac.jp

2014 年度春期研究発表会会場

首都大学東京 秋葉原キャンパス
〒101-0021 東京都千代田区外神田 1-18-13
秋葉原ダイビル 12 階 Tel 03-5294-0250

